

令和6年度第2回八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会

会議録（要旨）

開催日時：令和6年10月10日（木）午後2時00分～午後3時50分

開催場所：八潮メセナ集会室（2階）

傍聴者数：なし

審議結果：下記のとおり

1. 開会

2. 教育長あいさつ

3. 委員長及び副委員長の選出

4. 報告

「第1回八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会 意見・質問に対する回答」

5. 議事

(1) 八潮市学校適正配置指針・計画 北部地区個別計画（案）について

○事務局より、資料2に基づき、八潮市学校適正配置指針・計画 北部地区個別計画（案）について説明を行った。

○委員からの意見等

委員 地域や保護者の方々から意見のあった、市内全域から八條北小学校へのスクールバスの導入とはどのようなイメージか知りたい。

⇒事務局

導入すればよいのではないかという意見をいただいた段階であり、まだ具体的な検討は行っていない。

委員 小規模特認校の継続か否かも含めてこの場で検討するのか。

⇒事務局

令和2年3月に策定した適正配置指針・計画では、成果が出ない場合は小規模特認校の在り方を見直すことになっている。令和3年度から特認校を活用しており、現状では4年間で12人が利用しているが、それをどのように捉えるかによって判断されるものと考えられる。教育委員会としては、5年に1度の児童生徒数の推計を実施した結果が資料2に記載のとおり、令和2年3月に実施した推計よりもさらに児童生徒数が減少していくことが見込まれており、それらを加味して判断する必要があると考えている。

委員 特認校制度について2点お話ししたい。1点目は、特認校制度で人数が増えていないからといって八條北小学校の教育実績が評価されていないと捉えて欲しくはない。特色ある教育を行っている。英語教育などは高

度なものがあり、学力も高いものを維持している。交通が不便な場所にあるから人数が減っていると考えられる。2点目は、小規模特認校を活用して児童数を増やすことや、スクールバスを活用し、学校を存続することは難しいと思われる。やはり統合を検討していく必要があると考えている。

委員 小中学校が古くなっているが、アセットマネジメントの観点で市側はどのように考えているか知りたい。

⇒事務局

本日は施設管理担当がいないため回答は難しいが、概ね大規模改修は実施している。いずれにしても、今回対象となっている小中学校3校については老朽化しているという実態はある。

委員 小規模校解消の解決策として、小規模特認校制度の導入による成果は出ていない。周辺地域が市街化調整区域のため人口増加も見込まれていない。複式学級になることも見込まれている。そうすると児童生徒の立場からは学習や部活等で不利益が生じてしまう。統合の仕方を考えて環境を整える必要がある。交通環境を考えた場合、厳しい地域になる。統合する場合は安全に通学するためのスクールバス等の配慮が必要である。

委員 八條北小学校に通っている児童が八條小学校に通うことへの現場の意見が知りたい。統合になると思われるが、安全面の配慮が必要である。

委員 八條中学校の学区の子どもが、八潮中学校への進学を希望するケースが多い。朝の通学時の外環自動車道の横断を懸念している。そのため、八條小学校を八條北小学校や八條中学校に統合しても人数的にはそこまで増えないのではないかと思う。

委員 (仮称)外環八潮パーキングエリアの工事が始まり、交通量が増加していることから、通学環境が変化している。レイクタウンから八條小学校までの区間の交通量がかなり多い。3校統合するのであれば八條小学校への統合が現実的である。バスのロータリー等を使用してスクールバスは要所所を通るようにすれば問題ないと思う。

委員 八條小学校への統合の意見に賛成する。実際に、八條中学校では部活動の人数が少ないなどの状況となっている。また、今後学級数が減少していくことで、養護教諭や事務職員の配当が無くなることになるが、これは学校経営上の大変な課題にもなる。そのような状況になる前に、こういった課題も含め広い視野で検討していく必要がある。

委員 市内全体で同じような教育環境を提供する必要があり、そのためには統合等の検討が必要である。

委員 北部地区の交通事情による教育への悪影響は必至であり、それを考慮する必要がある。

委員 外環より以北の部分については、(仮称)外環八潮パーキングエリア等

の建設も含めて通学環境が変化していくことを考慮すると、八條小学校を中心とした統合を考えていくことになると思う。統合後は、現在八條北小学校及び八條中学校に通っている児童生徒たちへの対応を検討していく必要がある。

委員 これまで小規模校の良さに魅力を感じて通っていた児童生徒への対応が必要と考えられる。

委員 他市の統合校の初代校長に話を聞いたところ、野球もサッカーも人数を満たしてできるようになり、いろいろな児童や先生がいて良いと言っていた。現在の校長にも話を聞いたが、子どもたちもみんな溶け込んでいて問題はないと聞いている。統合後最初は大変かと思う。他市と状況は異なるが、ただ、子どもは現場への適応力はそれなりに高いのでそこまで心配する必要はないのではないかと思う。

委員 八條小学校は敷地が広いので中学校も含めることができるのではないかと思う。仮に八條小学校の敷地に中学校校舎を新設増設する場合は、どの程度の時間を要するのか知りたい

⇒事務局

即答はできないが、八條北小学校が八條小学校に移る場合は空き教室を使用することができるのでそれほど時間はかからないと思う。中学校の場合は小学校と校舎の規格が異なりそのままは使えないため、新たな校舎の建設が必要になると考えられる。そうなる様々な要素を検討する必要がある。建築基準法等の各種法令による制限、小中学校が統合した場合の校庭の広さの制限があるかなど、次回会議までに整理する。

委員 次回会議までに八條北小学校と八條小学校が一緒になった場合の学校の人数、必要な教室数を確認してほしい。統合した場合に新たに通いたいという人がどの程度いるか確認してほしい。北部から八條小学校に通う際の交通経路で道幅が十分なのか否かと懸念しており、その点も確認してほしい。

委員 八條北小学校は来年から複式学級になるのか知りたい。

⇒事務局

推計だと複式になるが、あくまで推計であり、実態としては今の2、3年生がそのまま八條北小学校に進級すれば複式にはならない。それよりは2031、2032年の方が危機感を持っている。来年は複式学級にはならない可能性が高いと考えている。

6. その他

7. 閉会